

化学療法を受けるまえに



様

北海道がんセンター 2016年9月改訂

2017年1月改訂

～化学療法を受けられる方へ～

(がん) 化学療法とは手術と放射線治療に並ぶがん治療3本柱のひとつで、抗がん剤を用いたお薬による治療のことです。化学療法は腫瘍を小さくする、手術後の再発を予防する、さらには手術で切除不能といわれた患者さんの腫瘍を縮小させて切除可能にする、など重要な治療法です。

外来で化学療法を行うことの最大のメリットは、患者さんが日常生活を送りながら化学療法を受けることによって、生活の質（QOL：Quality of life）を維持することができることです。具体的には化学療法を外来で受けながら今まで通り仕事も続けることができますし、趣味を楽しむこともできます。休薬中には長期間旅行にも行くことも可能です。

私たちは「より快適な環境で確実かつ安全な外来がん化学療法を提供する」という信念に基づき、外来化学療法を提供していきたいと考えております。化学療法を受けるにあたり、心配なことや不安なことがたくさんあると思います。

その心配や不安を少しでもやわらげて、安全に治療が受けられるよう、起こりやすい副作用とそれらに対してどうしたら良いのかをまとめました。

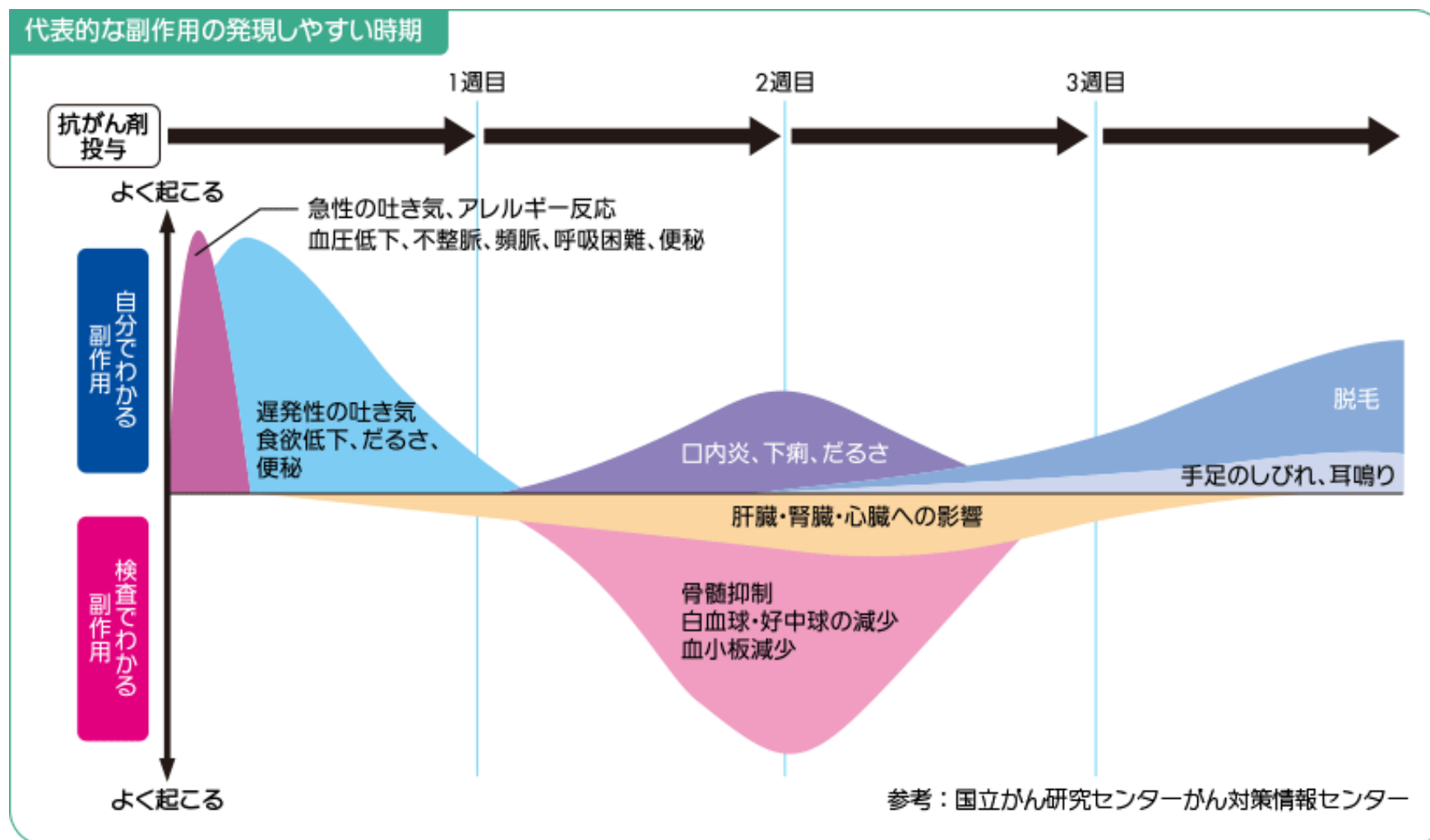
一般的な内容ですが（人によつての差や薬の種類による違いはあります）十分に目を通された上で、治療に前向きに取り組んでいただけたらと思っております。また、病気に打ち勝つ治療となるように、化学療法をする目的とその治療内容を是非理解していただきたいと思ひます。

(外来化学療法センター長 佐川 保)



できるだけ辛くなく治療がすすめられるよう、専門的な知識のある看護師や薬剤師が中心となり、スタッフ一同で応援しています！

主な副作用と出現時期



骨髄抑制（こつずいよくせい）

血液を作り出す骨髄に抗がん剤が取り込まれ、一時的に障害を受けることによって、白血球、赤血球、血小板の数が減ることをいいます。急激に血球が減った場合、輸血をする場合があります。

1. 白血球減少

病原菌と十分に戦うことができず、感染症を起こしやすい状態になります。また、虫歯や痔など、もともとある病気が悪くなること、口内炎などを起こす可能性があります。

予防・対処法

- ◆ 手洗い（食事の前、トイレの後、外出後）をしましょう
- ◆ 食後の歯みがき、うがい（朝起きた時、食事の前後、寝る前）をしましょう
- ◆ 毎日シャワーまたは入浴し、からだを清潔にしましょう
- ◆ 便秘にならないようにし、排便後はウォシュレットできれいにしましょう
- ◆ 人ごみは避け、外出をするときにはマスクを使用し、帰宅後は手洗い・うがいをしましょう
- ◆ ワクチン接種は主治医にご相談下さい



2. 赤血球減少

貧血症状（疲れやすい、動悸がする、めまいがするなど）が現れることがあります

予防・対処法

- ◆ めまいやふらつき、疲れやすいときには安静にし、回復してから体力の回復に努めましょう

3. 血小板減少

出血しやすく、血が止まりにくくなります

予防・対処法

- ◆ 採血、点滴のあとはしっかり押さえて血が止まったのを確認しましょう
- ◆ 歯ブラシは毛の柔らかい物を使用しましょう
- ◆ ケガや打撲に注意しましょう
- ◆ 鼻を強くかみすぎないようにしましょう

はきけ・食欲不振

抗がん剤の種類によってはきけの出やすさは変わります。抗がん剤の前にあらかじめはきけ止めを使いますので、はく事はほとんどありません。しかし、はきけ止めの効果が薄れてきたところに、むかつき・気持ちが悪い・食欲が落ちることがあります。また抗がん剤の影響で味覚や嗅覚が変化することで、にがく感じたり、臭いが鼻について食欲がおちるがあります。気持ちが悪い、すっきりしないなどありましたら、我慢せずにスタッフにご相談ください。

はきけを起こさないために／起こった時には

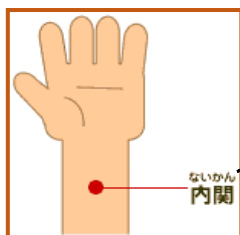
- ◆ 抗がん剤の前までに便秘を解消しておき、前日はしっかり睡眠をとりましょう
- ◆ 抗がん剤をする日は腹八分目としましょう
- ◆ ご希望に応じて病院食の内容を変えることができます
例) 冷めん、お粥、ゼリー・果物付加、食事を冷ますなど…
- ◆ 吐き気止めを飲む場合は、はきけがおさまるまで続けて飲みましょう

～食欲がないときの工夫～

- 冷たいもの、さっぱりしたもの、のど越しのよいものを
- 食べたいと思ったときに少量をゆっくりと、よく噛んで
- 食欲がない間はむりをせず、回復してからしっかりと
- 空気の通りのよいところで食べてみましょう
- 食べられなくても水分を十分に



吐き気がでた時にツボをグッと押すのも効果的です



腕の手のひら側
で手首のしわの
真ん中から上へ
指3本のところ



足の親指の本節の
後ろ1寸。太白(た
いはく)の後ろ1寸

味覚・嗅覚変化の対処法

- ◆ 濃い味の調味料を使ったり、塩味は濃い目にすると良いでしょう
- ◆ 食べ物の臭いが気になる場合は、室温に冷ましたり冷やすと食べやすくなります
- ◆ 味が残る食べ物・酢の物・漬け物・レモンジュースやカップラーメンなどが食べやすい場合もあります
- ◆ うがいや歯磨きで口の中を清潔に保ちましょう
- ◆ 唾液の分泌を促すガムを噛むのも効果があるといわれています
- ◆ においが気になる場合はたばこや香水のにおいがある場所は控えましょう

便秘

抗がん剤治療中は抗がん剤によって自律神経が障害を受けたり、はきけ止めの副作用・不安や緊張・運動不足などにより普段より便秘になりやすくなります。お薬をうまく使用し、1日1回排便があるようにコントロールすることが大切になります。

便秘にならないために

- ◆ 水分を取りましょう
- ◆ おなかのマッサージをしましょう
- ◆ 入院中も安静にしすぎず、散歩など運動をするように心がけましょう
- ◆ 下剤を上手に調節しましょう



酸化マグネシウム/マグミット

便に水分を含ませてやわらかくしてくれます。便秘予防にあらかじめ飲むこともあります。1回1錠~2錠を便の状態に合わせて（硬さや量によって）一日1~3回内服します。



プルゼニド/アローゼン

腸の動きを良くして便が出やすくなるようにします。飲んでから8~10時間ぐらいで効果が出ます。



ピコスルファート/ラキシベロン

便秘の症状が強い場合は内服することがあります。水薬なので、滴数で量を調節できます。

下痢

抗がん剤によっては、下痢を起こしやすいものがあります。毎日便の状態を観察し、排便回数と性状を確認しましょう。

予防法

- ◆ 食事は温かく、消化のよいものを食べましょう
- ◆ 下痢をしている間は香辛料の強い食品、冷たい食品、炭酸飲料やコーヒーは避けましょう

下痢になってしまったら

- ◆ 便の回数が4回以上に増えたり、便が泥状から水様になった場合はお知らせ下さい。状況に応じて、下痢止めなどの薬を飲んでいただきます。
下痢止めがあらかじめ処方されている場合は、我慢せず内服しましょう。
飲み方がわからない場合はご相談下さい。



ロペラミド



ロペミン



ブスコパン

- ◆ 下痢をしている時は、水分を多くとり、できるだけ安静にしましょう
- ◆ 腹部を温めると、腸の動きをしずめ、痛みを和らげてくれる効果があります
- ◆ 下痢が続くと肛門がただれやすくなります。排便後は弱めにウォシュレットを使用し、やさしく水分を拭き取りましょう



過敏症（アレルギー反応）

アレルギー反応とは、体に侵入した異物から守るためのシステム（免疫）が過剰に反応して現れる反応のことを言います。多くは抗がん剤を点滴してから顔が熱い・ドキドキする・体がかゆいなどの症状で出現します。アレルギー反応は、体に抗がん剤が入ってから数分で起こるものと、数時間から数日たってから起こるものがあります。

対処法

- ◆ 抗がん剤の種類によっては（ドセタキセル、パクリタキセル）初回、2回目の点滴時は10分間ゆっくりと点滴し様子を見てから指示通りの時間で点滴を行います
- ◆ 指示された予防薬がある場合は忘れずに飲みましょう
- ◆ 次のような症状がでた場合は、様子を見ずにすぐにスタッフに教えてください
かゆみ・じんましん・体が熱い・のどの違和感・くしゃみ・咳・冷や汗・めまい・息苦しさ・動悸など
- ◆ 外来で治療を受けた場合は、帰宅後の体調変化に注意しましょう

神経障害（しびれ・知覚異常）

使用する抗がん剤によって手や足がしびれたり、刺すような痛みがあったり、感覚が鈍くなるなどの症状が出る場合があります。治療開始から早くて 3~5 日後、又は、数週間後から症状が始まるなどの個人差がありますが、治療回数が進むにつれて強くなる傾向があります。神経障害が進むと、箸が持ちづらい、ボタンの掛け外しなどの細かい動作がしづらい、字が書きづらい、スリッパがすぐ脱げるなどの症状が起こります。このような症状があるときは主治医や看護師にお話し下さい。

残念ながら効果的な予防法はありませんが、症状が生活に支障をきたすことがないように、経過をみていく必要があります。何か気になる症状があるときは我慢せずご相談下さい。

対処法

- ◆ 気温が低いときは皮膚の露出を避け保温しましょう。冷やすと症状が強くなる場合があります
- ◆ 感覚が鈍くなっている時は、熱さを感じにくくなります。やけどに注意し、湯の温度、コンロやストーブ、カイロの使用に注意しましょう
- ◆ 包丁や鍋などは十分に注意して使用しましょう
- ◆ 外出時は安定した履物（足をしっかり固定してあるもの、底の滑りにくいもの）をはきましょう。階段昇降時はできるだけ手すりを利用しましょう
- ◆ 一度おこった神経障害が回復するには時間がかかります。細かい動作が難しくなってきた場合や、じんじん痛む場合にはお知らせください。しびれを和らげるお薬を処方したり、抗がん剤の量を変更する場合があります。



手足症候群

一部の抗がん剤の治療では、副作用として手足の皮膚が赤くなったり、腫れて痛みが出るなどの皮膚症状が生じます。内服している薬の種類によって症状の現れ方や程度は異なりますが、多くは一週間程度、早ければ投与後数日以内に症状が現れます。

しびれ・痛みなどの感覚異常



手の掌、足裏の赤み・むくみ・色素沈着
角化やひび割れ・水ぶくれ



爪の変形や黒ずみしびれ・痛みなどの感覚異常

日常生活で気をつけること



「清潔」「保湿」「刺激からの保護」観察が大切



- ◆ 長時間の歩行など、足の裏に負担のかかる日常動作を避けましょう
- ◆ 靴は柔らかい材質で足にあったものを履きましょう
- ◆ 厚めの靴下やジェル状の靴の中敷を使用して足の裏を保護しましょう
- ◆ 熱い風呂やシャワーをなるべく控えましょう
- ◆ 外出時、日焼け止めクリームを塗ることで紫外線を防ぎましょう

手足のスキンケア

【肌にやさしい洗い方】

- ① 石鹸はできるだけ刺激の少ないもの（弱酸性、保湿剤入り）の洗浄剤などを選ぶとよいでしょう。
- ② 石鹸はよく泡立てて使用しましょう。
- ③ 泡立てた泡で手のひらで優しく洗う方法で汚れを落としましょう。
- ④ 石鹸が残らないように洗い流します。その時、お湯は熱すぎないようにしましょう。
- ⑤ タオルで押さえるように優しく拭きましょう。
- ⑥ 皮膚が傷つくので軽石の使用はさけましょう。

【肌の保湿ケア】

- ① 皮膚の乾燥を避けるため保湿剤をこまめに塗りましょう。
- ② 1日5回を目標に少なくとも1日2~3回塗りましょう。
- ③ 手洗いや水仕事の後などは、その都度保湿剤を塗りましょう。
- ④ 保湿クリーム量は、人差し指の第一関節まで出した量が両手に塗る目安です。顔に軟膏をぬる場合は①化粧水②ステロイド軟膏③保湿剤の順番で使いましょう。



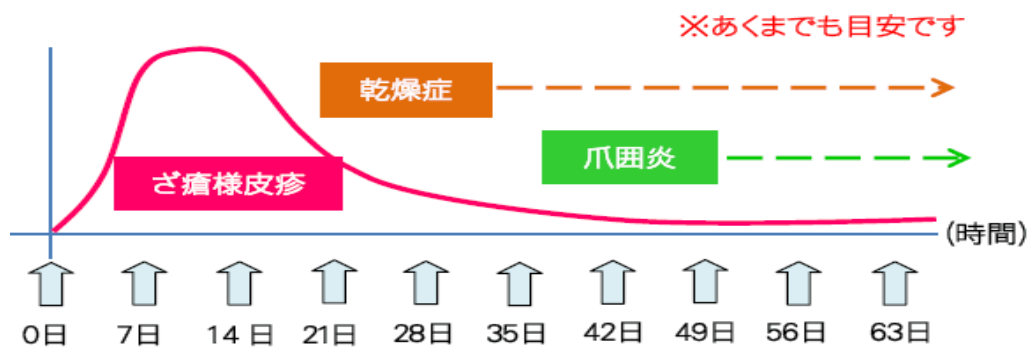
お化粧・髭剃り

- ◆ 普段から使用していて荒れない化粧品であればお化粧をしてもかまいません。異常を感じたら使用をやめましょう。クレンジングは皮膚に負担のないジェルタイプかクリームタイプで皮膚を擦らないようにしましょう。
- ◆ 皮膚に負担の少ない電気カミソリを優しくあてるようにすると良いでしょう。

皮膚障害

分子標的薬治療ではほとんどの方に皮膚症状が現れます。皮膚の症状をコントロールしながら治療を続けることが重要になります。

症状と発症時期



1. ざ瘡様皮疹顔

顔（鼻の周りなど）、頭、首、上半身（胸や背中）ににきびのような発疹が現れたり、赤くなってかゆみを伴うことがあります。

2. 皮膚の乾燥、ひび割れ

皮膚全体に乾燥がみられるようになります。手足の指先のひび割れやかゆみが出ることもあります。

3. 爪の変化、爪の周囲の炎症

爪が変形したり爪の周囲に炎症が起こって痛みを伴うこともあります。手足の爪に生じます。

治療開始と同時に肌の保湿を開始しましょう

手足のスキンケア

【肌にやさしい洗い方】

- ① 石鹸はできるだけ刺激の少ないもの（弱酸性、保湿剤入り）がの洗浄剤などを選ぶとよいでしょう。
- ② 石鹸はよく泡立てて使用しましょう。
- ③ 泡立てた泡で手のひらで優しく洗う方法で汚れを落としましょう。



- ④ 石鹼が残らないように洗い流します。その時、お湯は熱すぎないようにしましょう。
- ⑤ タオルで押さえるように優しく拭きましょう。
- ⑥ 皮膚が傷つくので軽石の使用はさけましょう。
- ⑦ **皮膚、爪の周囲に強い炎症が起きている場合**には、ステロイド軟こうを使います。ステロイド軟こうは部位によって異なるため、用法・用量を守りましょう。

【肌の保湿ケア】

- ① 皮膚の乾燥を避けるため保湿剤をこまめに塗りましょう。
- ② 1日5回を目標に少なくとも1日2~3回塗りましょう。
- ③ 手洗いや水仕事の後などは、その都度保湿剤を塗りましょう。
- ④ 保湿クリーム量は、人差し指の第一関節まで出した量が両手に塗る目安です。顔に軟膏をぬる場合は①化粧水②ステロイド軟膏③保湿剤の順番で使いましょう。



お化粧・髭剃り

- ◆ 普段から使用していて荒れない化粧品であればお化粧をしてもかまいません。異常を感じたら使用をやめましょう。クレンジングは皮膚に負担のないジェルタイプかクリームタイプで皮膚を擦らないようにしましょう。
- ◆ 皮膚に負担の少ない電気カミソリを優しくあてるようにすると良いでしょう。

爪障害

治療で使用しているお薬の影響で爪の症状が出る場合があります。

- ✚ 爪がもろくなる。黒ずむ
 - ✚ 爪の周りに炎症がおきて痛くなる（爪囲炎）
 - ✚ 爪が曲がり皮膚に食い込む（嵌入爪）、爪が巻いてくる（巻き爪）
- このような症状は普段のお手入れである程度予防することができます



ふだんのお手入れ

- 爪はスクエアカット（四角くカット）にしましょう。
- 少し長めに切るようにしましょう。
- 短かすぎたり、深爪をすると症状が悪化することがあります。
- 爪を整える場合は爪切りを使用せず「爪ヤスリ」を使用すると爪への負担が少なくなります。使用する場合は、爪の脇から中央部分に向けて一方方向にヤスリを動かしましょう。往復すると二枚爪になりやすくなります。
- マニキュアで爪を補強すると効果的です。



巻き爪などの症状が出たら

◇ テーピングで皮膚をひっぱり、爪の先が皮膚に食い込まないようにしましょう。



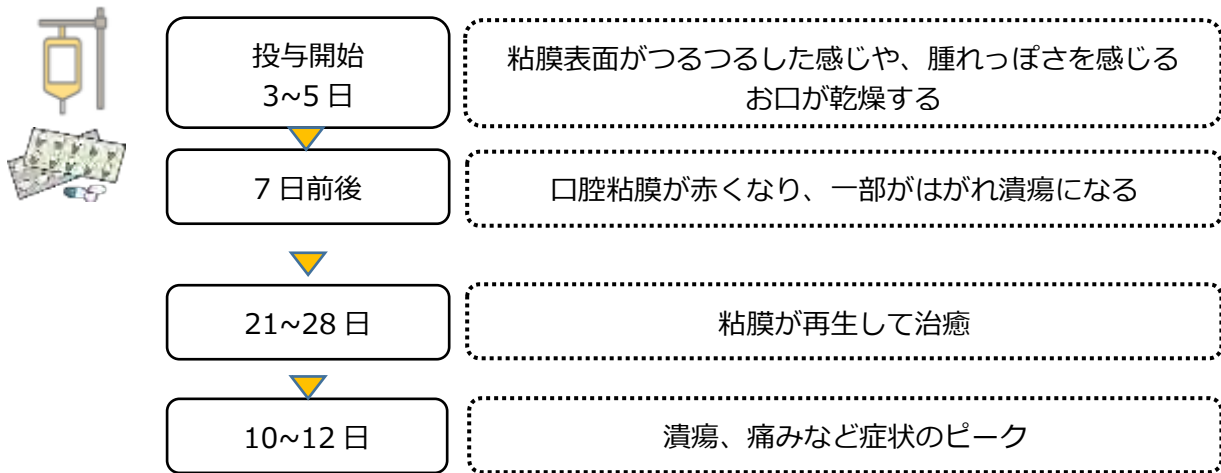
- ◇ 蒸れて症状が悪化するので、絆創膏でぐるぐる巻くのはやめましょう。
- ◇ 爪の曲がりの治療として、当院皮膚科ではワイヤー-装着の処置を行っています（自費診療で1爪当たり15000円、診察のみ3000円）。詳しく知りたい方は皮膚科に別紙がありますのでスタッフにお声がけください。

口内炎・口腔粘膜炎

抗がん剤治療中はお口の中の粘膜が赤く腫れて痛みが出現したり、唾液量の低下により乾燥しやすくなります。口内炎がひどくなるとお食事がとれなくなったり、全身の感染の原因となることもあるため、抗がん剤治療中のお口のケアは大切です。

治療を始める前からお口のケアをしっかりおこない、常にお口の中を清潔に保ち、細菌が増えないようにすることが大切です。自覚症状を確認し、毎日鏡でお口の中をチェックしましょう。

① 口内炎(口腔粘膜炎)の症状はこのような経過をたどります



② 口内炎の予防で大切なことは、

口腔衛生の保持(お口の清潔)と口腔内の保湿(乾燥させないこと)です

- 1日3回、食後30分以内に歯磨きをしましょう。粘膜を傷つけないよう、力を入れずに丁寧に磨くようにしましょう。歯ブラシは、ヘッドが小さく、やわらかめの**ナイロン製**がお勧めです。舌も奥から手前に向かって軽く数回こすりましょう。
- 入れ歯の方は毎食後に外して洗いましょう。就寝時は容器に水を入れて浸けておきましょう。
- 起床時、食前・食後、就寝前など1日8回を目標に、水か塩水でうがいをしましょう。お食事前にうがいをする事で細菌を減らし、お口の中に潤いを与え粘膜が傷つくのを防ぎます。

水500mlに小さじ1杯弱(4.5g、ペットボトルのキャップ8分目)の塩を混ぜると生理食塩水ができます。1日で使い切りましょう。

- アルコール、殺菌剤入りのうがい薬や洗口液は、刺激になる可能性があるため避けましょう。

※歯がぐらついている、歯茎が腫れるなどの症状があれば、治療前に主治医や看護師に相談しましょう。



脱毛

毛根細胞は活発に活動している細胞なので、抗がん剤の影響を受けやすい傾向があります。治療開始後2～3週目頃より脱毛が始まり、1～2ヶ月でほとんどの毛が脱毛しますが、人によりさまざまです。薬によって脱毛するもの・しないもの、体の毛も抜けるものなど違いがあります。

抜ける前の準備

- ◆ ブラシは目の粗いものを使用しましょう。
- ◆ 髪の毛の長い方はあらかじめ毛髪を短くカットしておいたほうが、抜けたときも掃除がしやすくなります。
- ◆ スカーフや帽子、かつらを抜ける前に準備しておくとい良いでしょう。かつらの種類も多く、見た目や目的、価格によって選択することができます。当院1Fアピアランスコーナーにパンフレットや見本がありますので、迷っている場合はスタッフにご相談下さい。

抜け始めてからのケア

- ◆ 直射日光による刺激を避け、帽子や日傘を活用しましょう。
- ◆ 新しく生えてくる髪のために、シャンプーは手のひらでよく泡立ててからやさしく洗髪しましょう。抜けてしまっただけからはボディソープや洗顔フォームでもかまいません。
- ◆ ドライヤーは低温で使用しましょう。
- ◆ 粘着テープなどを利用し抜け毛を掃除し、ベッド周囲を清潔に保ちましょう。

治療が終わったら

- ◆ 髪の毛は2,3ヶ月後で産毛、半年から1年で全体的に生えてきますが、数年はくせ毛の場合が多いようです。まつ毛や眉毛は数ヶ月で生えてくるのがほとんどです。
- ◆ 生えそろうてきたら、パーマやカラーリング（毛染め）をしてもかまいません。

当院では1年間のレンタルもあります。
相談窓口もありますので
ご相談下さい。



床頭台のテレビの無料放送で治療中の美容に関するチャンネルもあります。ぜひご覧ください。

抗がん薬曝露

治療後2日間ほどは尿や便のなかに抗がん剤が残っています。それらに直接触れても健康に被害を及ぼすことはありませんが、できるだけ広げないようにするとよいでしょう。

日常生活の注意

- 男性も座って排尿しましょう
- トイレの後は2回流しましょう。
ふたがある場合はふたをしたから流しましょう
- 尿がこぼれた場合はトイレトペーパーできれいにふきとり、トイレに流しましょう。水拭きすると良いでしょう。
- トイレのあとは石鹸でよく手を洗いましょう。



ふたがあれば閉めて2回流す

- 尿や嘔吐物で汚れた洗濯物は、ほかの洗濯物と分けて洗濯するとよいでしょう。

性生活

治療中は性生活においてもいくつかの注意事項があります。また、抗がん剤や体調の変化で治療前の感覚とは異なる場合もあります。何か不安な事があればお聞きください。

対処法

- ◆ 抗がん薬によっては月経が止まったり、閉経が早くなる場合があります。
- ◆ 治療後1週間から2週間の骨髄抑制時期は感染や出血などの危険も高いため性行為は控えましょう。
- ◆ 治療中は体液の中にも抗がん剤が残っているためコンドームを使用し避妊しましょう。
- ◆ 膣が乾燥する場合は潤滑ゼリーなどを使用しましょう。
- ◆ 性行為の前後は清潔に注意しましょう。
- ◆ 詳しい情報を知りたい場合は下記の本やインターネットで調べることができます。

アメリカがん協会編、高橋郁訳：がん患者の<幸せな性>、春秋社；2007.

日本がんと性研究会 <http://oncosexo.umin.jp/>

国立がんセンター [がん情報サービス：性機能障害](#)

<http://www.bms.co.jp/medical/sizai/OncolNurse-15.pdf#search=%E6%80%A3%E6%A3%8C%E6%A3%8D%E6%9C%80%E6%9C%8B%E6%9C%8D%E6%9C%8E%E6%9C%8F%E6%9C%90%E6%9C%91%E6%9C%92%E6%9C%93%E6%9C%94%E6%9C%95%E6%9C%96%E6%9C%97%E6%9C%98%E6%9C%99%E6%9C%9A%E6%9C%9B%E6%9C%9C%E6%9C%9D%E6%9C%9E%E6%9C%9F%E6%9C%A0%E6%9C%A1%E6%9C%A2%E6%9C%A3%E6%9C%A4%E6%9C%A5%E6%9C%A6%E6%9C%A7%E6%9C%A8%E6%9C%A9%E6%9C%AA%E6%9C%AB%E6%9C%AC%E6%9C%AD%E6%9C%AE%E6%9C%AF%E6%9C%B0%E6%9C%B1%E6%9C%B2%E6%9C%B3%E6%9C%B4%E6%9C%B5%E6%9C%B6%E6%9C%B7%E6%9C%B8%E6%9C%B9%E6%9C%BA%E6%9C%BB%E6%9C%BC%E6%9C%BD%E6%9C%BE%E6%9C%BF%E6%9C%C0%E6%9C%C1%E6%9C%C2%E6%9C%C3%E6%9C%C4%E6%9C%C5%E6%9C%C6%E6%9C%C7%E6%9C%C8%E6%9C%C9%E6%9C%CA%E6%9C%CB%E6%9C%CC%E6%9C%CD%E6%9C%CE%E6%9C%CF%E6%9C%D0%E6%9C%D1%E6%9C%D2%E6%9C%D3%E6%9C%D4%E6%9C%D5%E6%9C%D6%E6%9C%D7%E6%9C%D8%E6%9C%D9%E6%9C%DA%E6%9C%DB%E6%9C%DC%E6%9C%DD%E6%9C%DE%E6%9C%DF%E6%9C%E0%E6%9C%E1%E6%9C%E2%E6%9C%E3%E6%9C%E4%E6%9C%E5%E6%9C%E6%E6%9C%E7%E6%9C%E8%E6%9C%E9%E6%9C%EA%E6%9C%EB%E6%9C%EC%E6%9C%ED%E6%9C%EE%E6%9C%EF%E6%9C%F0%E6%9C%F1%E6%9C%F2%E6%9C%F3%E6%9C%F4%E6%9C%F5%E6%9C%F6%E6%9C%F7%E6%9C%F8%E6%9C%F9%E6%9C%FA%E6%9C%FB%E6%9C%FC%E6%9C%FD%E6%9C%FE%E6%9C%FF>

補完代替療法（民間療法）

健康食品やサプリメントのなかには抗がん剤との相性が悪いものがあります。治療中は避けたほうがよい民間療法もありますので、試したい場合はご相談下さい。

がんに関する困りごとの相談窓口

北海道がんセンターではがん治療に伴う様々な困りごとへの相談窓口があります。

がん相談支援センター

平日9:00～17:00

- ・ 治療費や支払いが心配
- ・ 介護保険について知りたい
- ・ 就労相談をしたい
- ・ 患者会について知りたい
- ・ かつらや帽子を試したい

地域連携室

平日9:00～17:00

- ・ 療養生活に不安がある
- ・ 地元の病院に通院したい
- ・ 他の病院の診察や治療について相談したい

がん看護外来

完全予約制

- ・ 抗がん剤治療や放射線治療、手術に伴う症状が辛い
- ・ 誰かに気持ちを話したい
- ・ 家族にどう伝えればよいかわからない

ご相談内容により担当する看護師が異なります。主治医もしくは看護師へご相談下さい

床頭台テレビに化学療法に関する無料放送があります。

メインメニュー → 必ずご覧ください → 次ページ → がん治療を受ける前に
副作用対策、治療中の美容、お口の手入れ等に関する情報がありますので、ぜひご覧ください。

心配なことは何でも遠慮なくお聞きください。

安全・安楽に治療が続けられるようスタッフ一同
支援いたします。

